




環境インフラ展開プラットフォーム・環境技術リスト・登録フォーム（日本語版）

項目	内容
技術名	産業廃棄物（有害廃棄物含む）の適正処理に係る運営技術
技術分類	焼却処理
会員企業名	加山興業株式会社
概要	医療廃棄物を含む有害廃棄物、廃プラスチック等多様な廃棄物を一手に受け入れ、対象廃棄物の種類・性質に応じた処理設備・施設の適正利用及び持続的な維持管理に係る運用マネジメントシステム。
内容 (400 文字 以下)	<p>【目的】有害廃棄物の適正処理推進への貢献、リサイクル率向上を通じた循環型社会推進</p> <p>【特徴】システムは有価物のリサイクルや分別を行う「破碎・選別施設」、ボイラとサーマルリサイクル機能も含む乾燥機から成り、有害廃棄物の完全無害化が可能な「焼却・乾燥施設」の二つで構成される。</p> <p>採用機材は、燃焼の安定性、現地の有害廃棄物への適合性、保守点検の容易さや運用維持管理を含む確実なフォローアップ体制や資源リサイクルへの貢献等の観点から、本邦他国の競合他社に対する比較優位性を有する。</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却炉による無害化・減容量が促進されることで周辺環境の保全に繋がる。 ・確実な焼却処理により、廃棄物が埋め立てされた際に発生するメタンの排出量が減少する。 ・焼却処理によって廃棄物が減容化されることになり、最終処分場の負荷軽減に繋がる。 ・廃棄物を再資源化することによって、現地のリサイクル率が向上する。
図 (1MB 以下)	<p style="text-align: center;">JICA 普及・実証事業で供与した焼却炉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p style="color: red;">処理能力: 1t/日 ・800℃以上 ・有害ガス除去装置付き</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>・ビエンチャン市管理局職員による焼却炉運営の様子 ・運び込まれた廃棄物(医療系廃棄物)を1/10まで減量化実現。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>加山興業株式会社</p> </div>
参考資料	http://www.kayama-k.co.jp/public-documents/3491
対象地域	<input type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 東南アジア <input type="checkbox"/> 中央、南アジア <input type="checkbox"/> 中国、東アジア <input type="checkbox"/> 中東 <input type="checkbox"/> アフリカ <input type="checkbox"/> オセアニア <input type="checkbox"/> 欧米 <input type="checkbox"/> 中南米 <input checked="" type="checkbox"/> 制限なし
実績	本邦においては、事業拠点を置く愛知県以外にも東海五県や近畿中国地方の顧客の幅広いニーズに答えている。年間の廃棄物受け入れ量は 5 万 t を超えており、そのうち 8 割にあたる 4 万 t ほどが

	<p>リサイクル、残りを焼却などの適正処理を実施している実績を持つ。</p> <p>また、本運営技術は、独立行政法人日本国際協力機構（JICA）の民間連携スキーム（案件名：「ビエンチャン市における医療廃棄物を含む有害廃棄物処理・管理改善に向けた普及・実証事業」）に採択された。特に医療系廃棄物の適正処理について現地のカウンターパート（ビエンチャン都管理局）及び現地の商工省、環境天然資源省、保健省などの機関に加山興業株式会社による廃棄物管理システムの有効性について普及活動を実施した実績をもつ。</p>
SDGs との 関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロ 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナーシップで目標を達成しよう
参照 URL	http://www.kayama-k.co.jp/public-documents/3491
提出日	2021/1/22